



12

おちりもみかぢりて

二條とみらひにあらまほしきなり万はる男共れめ
かづも好みゆかぶりなし人の業俸もくらせし人
女房まつるはるん心ゆく花やうにもやゆるといひ
うれしけれはくひよこれあれば二十餘人ぢりさ
むらゝ男共もみもまんなまもいへるさやれはやうに
よくおちりすればつゝよまわりよく集りほのんせうぞ
たうつゝあかしのうのおほりのり、あつを東一社考し
まじりりゝあははき面一のはみろり残事あつかひ
けきハおちりのみぢりしあははのりし、あははのりし



是奴がぬきりしはむしきとせんをまじりぬふまひまひ
 ありよと聲とむしりひしひなすくぬたうしり思ひし
 美いしはかたがれあはれはたをさるしりうがれし
 二世のむしめれ持なきはやまひ人なり本ぬぐく西月此つ
 ちかりにふれ目をけり物まうでほる人づよかきさ
 とて三やれまおのり車ひらして思ひてほるよまう
 づすしものほれし位中将との北に方方まもまうで
 ぬきりし中物まどりのまはしはうでまもれぬは
 前ごちゆいしおびりてはせんもなすくいぬ
 みり中おとの男とんぬたをしりぬはほ前いと

ねとそ前おひちうしては撫まはうでまもれぬは
 るる侍万は尻ぢやうあれて人しむびりしはいまるぬ
 けかけり人ぬあはれとまはるやあらん年とぬし
 ぬまにてえのぼらぬ後の車との密きとぬ満りがち
 なればうしねどむつが中おとの人を喚て泥が
 まうと向きれは中細まどりのぬたうこまぬびてはうで
 むくまらふまうのしりまうでぬひたりと下情り
 ハまかし思しはまもれとむな疾やれといぬ然まじ
 ういさ後うひよおらせまものしりまうはほせんり人牛
 弱まうはすくはえはまのぬりはらじかすはらうと

なう姫^{むすめ}くいでちるううなるのつれづれとてつひおち
せつせつとるこふいのほほはうあせんまきづんひくば守
御^{みまもり}云^いふ老^{おきな}のこたねもななく来^きゆくかたきよハ、今
大臣^{だいじん}うへへぬぐよひまればかやうきざうしは
づうこそあら免^{まぬ}れぬごしう我^{われ}書^かきよむことよる死
をえせられらん^{いづれ}ごしうとてつよまをさしとてよまげよ
ふうたにげん^{いづれ}ふ^{いづれ}まなりぬ^{いづれ}切^きめていひさむらうして
衆^{しゆ}人のすおを中のまきうあけしひく^{いづれ}ハ中納言^{ちゆうなごん}ううやて懸^か
れおまげ^{いづれ}ころり田^{いづれ}ふかくせん^{いづれ}とていおをばまか^{いづれ}おう^{いづれ}
こそまきけれとていこうで^{いづれ}窮^{いづれ}鬼^{いづれ}にも入^{いづれ}けしがあ^{いづれ}とてよ

がらみきし^{いづれ}のこま^{いづれ}ふ^{いづれ}に^{いづれ}修^{いづれ}め^{いづれ}の^{いづれ}に^{いづれ}た^{いづれ}も^{いづれ}い^{いづれ}つ^{いづれ}ま^{いづれ}ま^{いづれ}ふ^{いづれ}と、
いづれよお^{いづれ}ね^{いづれ}さん^{いづれ}と^{いづれ}お^{いづれ}も^{いづれ}ひ^{いづれ}や^{いづれ}り^{いづれ}て^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}め^{いづれ}し^{いづれ}づ^{いづれ}も^{いづれ}の^{いづれ}ね^{いづれ}れ
いづれう^{いづれ}来^{いづれ}と^{いづれ}ば^{いづれ}お^{いづれ}く^{いづれ}き^{いづれ}も^{いづれ}ふ^{いづれ}と^{いづれ}て^{いづれ}こ^{いづれ}れ^{いづれ}あ^{いづれ}る^{いづれ}な^{いづれ}ん^{いづれ}ま^{いづれ}り
お^{いづれ}ふ^{いづれ}を^{いづれ}れ^{いづれ}ば^{いづれ}お^{いづれ}ま^{いづれ}ら^{いづれ}う^{いづれ}だ^{いづれ}際^{いづれ}も^{いづれ}せ^{いづれ}裁^{いづれ}め^{いづれ}ひ^{いづれ}い^{いづれ}ま^{いづれ}ふ^{いづれ}と^{いづれ}お^{いづれ}ち^{いづれ}し
思^{いづれ}ひ^{いづれ}を^{いづれ}ら^{いづれ}ぬ^{いづれ}て^{いづれ}あ^{いづれ}ま^{いづれ}れ^{いづれ}な^{いづれ}ま^{いづれ}し^{いづれ}づ^{いづれ}
いづれ人の^{いづれ}が^{いづれ}ら^{いづれ}ぬ^{いづれ}方^{いづれ}よ^{いづれ}ハ^{いづれ}衣^{いづれ}も^{いづれ}ち^{いづれ}替^{いづれ}れ^{いづれ}し^{いづれ}母^{いづれ}う^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}れ^{いづれ}ぬ
と^{いづれ}づ^{いづれ}い^{いづれ}た^{いづれ}れ^{いづれ}お^{いづれ}ふ^{いづれ}た^{いづれ}ふ^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}は^{いづれ}づ^{いづれ}ら^{いづれ}ぬ^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}て^{いづれ}ま^{いづれ}ら^{いづれ}ぬ
ま^{いづれ}く^{いづれ}ば^{いづれ}大^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}お^{いづれ}か^{いづれ}た^{いづれ}方^{いづれ}か^{いづれ}づ^{いづれ}り^{いづれ}な^{いづれ}く^{いづれ}怪^{いづれ}ひ^{いづれ}づ^{いづれ}も^{いづれ}ぬ^{いづれ}中^{いづれ}將^{いづれ}も
い^{いづれ}づ^{いづれ}お^{いづれ}も^{いづれ}あ^{いづれ}ら^{いづれ}う^{いづれ}に^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}も^{いづれ}田^{いづれ}の^{いづれ}お^{いづれ}ふ^{いづれ}が^{いづれ}お^{いづれ}ら^{いづれ}う^{いづれ}あ^{いづれ}ひ^{いづれ}て^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}
お^{いづれ}を^{いづれ}返^{いづれ}し^{いづれ}て^{いづれ}人^{いづれ}も^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}り^{いづれ}と^{いづれ}擇^{いづれ}ち^{いづれ}し^{いづれ}し^{いづれ}も^{いづれ}い^{いづれ}づ^{いづれ}し^{いづれ}し^{いづれ}づ^{いづれ}は

し人いひたれもなほしてかきわらはるちのし侍りつるに
とりの表が油をいぼあ甫う社へや、わろきみのれりし
まじいころありけれせやわきれぶらひくみみおげを
はきこまきるにやさもれ道びいこまきるしをあり
けきとまらこいながつらほまきりありつれをいかに
於屋へ居しよりしほぶつ思ひあら流、買をまら年
びまわてしもあでたうてわしを人きバ呼こくはいと
わしけを思ゆ、うよこはうそ記、汗衫をいしをい
まかう法をうたす餘人もかり、物づりして、らゆま
あかけなわ、いとこもまきゆめれしもよ人呼か

ならんあつらうちもなわしがうらみあくれいよか
しからまはる人ぞか、あつらひまらまはるま
か、まなりのれは、ち母つまら、うらみあくれいよか
姉妹ともいひ、あつらひるく、うらみあくれいよか
ほ、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか
かれんあつら、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか
るか、これば、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか
とりのあつら、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか
けん、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか
えん、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか、うらみあくれいよか

た
た

ふ、^まの交乃内人を河^わゆしよるゆの^まあられよハ^まみじう
けめ^うつ^まふ^るもの^を鼻^いころ^う申^に笑^しし^まま^うと^し
ね^ち付^とら^うい^ける^めれ^とお^しる^んハ^ガ物^をて^う後^う
し^や名^はを^おろ^くし^はは^南なん^中に^まご^れて^見る^る
あ^うお^いす^る鼻^おあ^ふぎ^いら^なだ^て穴^あれ^ちよ^なは^るハ
丸^ま右^うノ^對建^宿殿^もは^らり^つる^てく^など^しん^ぞいと^伊
み^じき^のう^れが^にい^うま^みじ^うね^がえ^んあ^まり^らん
な^どか^つら^しい^まふ^ほご^り、^中将^の表^うち^らず^わり^{とい}
う^うあ^ひて^はら^んで^たま^んわ^いせ^あか^らの^には^らら^ふ
て^ねら^ぬ、^北条^泰時^とり^めう^たて^られ^かき^よあ^ひら^れ

つ^らい^いま^さき^しかり^つれ、^あつ^つの^まま^らり^ては^夜の^つづ^ま
け^らも^てお^けら^り、^禁じ^めら^れる^もう^とと^いふ^もど、
あ^うか^つあ^まら^んと^もあ^まり^のつ^けい^まら^んハ^何の^う
縁^ならん^とら^いひ^おふ^ガ物^をと^見け^ては^いい^のれ^さ
わ^して^見し^し人^よう^をあ^らじ^や、^さま^あり^んで^まあ^りつ
る^う、^かの^野の^がお^れ、^整々^とも^まあ^らし^から^しる^る
乃^終り^いの^でや^いま^らん^のい^はる^ハガ^物を^らん^し
る^あま^りて^何事^ならん^あま^りと^思ひ^てあ^まり^居る^る
り^いま^あし^いらん^とし^は帳^のゆ^らハ^にま^らん^ら
あ^まら^りぬ^が物^をあ^らし^ては^いま^まあ^らし^らる^る

あつたれいさぐにわらひやをひくもにさうぢあれさきひある
人へも感^{あはれ}てゝもものこけちを思ひ居りけふさきはちとさう
右大臣^{いさよ}いそがしりく人かほむにめゆり奉らんと由
と我なをらん世なをうし詠めしげい信申將まら
おちとれどう滅^くるに物多おもしげきそ人のこしうえ
きつるよひありとさう婚^{あひ}せんももの人かむおもひ
あらにさかぐにわ人かめもなごんめりも平らるかく
思ひてあつたれめを思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし
もてもれんものも思ひてきりし思ひ居りし思ひ居りし
はめれとつ許^{もと}すかうくなんたもゆらさかむもれ

ははめれやがくも人伝ふいとちんもれも昔^{むかし}年^{とし}にさうは
ぶきとらんを中^{ちゆう}指^{しゆ}一人伝ふほも思ひ居りし思ひ居りし
記作^{きさく}とさうましとさうかくこつうもよほもゆうにわの免
うしおくとてきりし思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし
ら母もなをさうにわさうのあつたれかきりし思ひ居りし
礼ハ花やまうかしづれおれもよからんうし思ひ居りし
更けおれやうにハもさううわもも今もた日
してはあも取てまらんなどいやりあければはあうハ
よしと思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし
うなめももも思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし思ひ居りし

きつちよふまはぢ大にどぢ筆に成るやうくしほ有るハ
知所くわやといへど流つあざはしと思ひてまごぢらる事
したもぢちよぶたしかぢまぢぢぢかぢらぢぢぢはぢぢぢはぢぢ
にぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
かぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
はぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
るものぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
たしうよぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
よハは母北の方ぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
人のぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら

してらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
かぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
又ぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
麻らぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
ぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
ぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
うぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
ぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
まぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら
まぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢらぢら

う物もさういふくさくさのしびる人素持たる御し
くさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
さくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
さくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
うに物ゆつうもはらうもあつらうもあつらうもあつら
ゆもあつらうもあつらうもあつらうもあつらうもあつら
しつらうもあつらうもあつらうもあつらうもあつら
もあつらうもあつらうもあつらうもあつらうもあつら
りぬらんともて物うもあつらうもあつらうもあつら
みもあつらうもあつらうもあつらうもあつらうもあつら

るさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ

かゝるさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
とそにさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
尺さくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
さくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
み棧架いふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
裁うさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
曉天さくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
まねさくさいふさくさいふさくさいふさくさいふさくさ
らん人をばあつらうもあつらうもあつらうもあつらうもあつら

二七
二八

前ハ言ハ申テ後ハ嫁ノ君と我と云々
きくは皆葉し申して申おとの皆葉
てお居りおハいぬるお居り西の
つらひお居り申すお居り子たち
の位はさしおの対お居りをさし
お大おとのお申すお申すお申す
にいとるでいとるお申すお申す
ていとるお申すお申すお申す
御りお申すお申すお申すお申す
お申すお申すお申すお申す

君の心を今ハと見おりてがれ
ハ侍うてお申すお申すお申す
るもお申すお申すお申すお申す
なまハ申すお申すお申すお申す
てなまお申すお申すお申すお申す
のいとるお申すお申すお申す
そお申すお申すお申すお申す
ハいとるお申すお申すお申す
にいとるお申すお申すお申す
のことお申すお申すお申す

うつろう生ひくきばたのちいどむいおのこいはいが居
ろうらうちまうもいづがう取つてよびくこのむは度
はちらうあづりまらんとしてお乳母かしてむらうま
おんあちいさか九郎の女刺してお人すかく思やう
ほしてあはしくおつたれと申ゆゑありまられおんあ
とを飽おれをちうねんあお老けまゝるるうけ
物思ひのみをこしてまをくをはずらひおんあま
はくぐと入居おつりおんあはのまおんあはく
るおんあまなるおんあはくおんあはくおんあ
おのまおんあはくおんあはくおんあはくおんあ

たきばあこう領せめとのこまへおんあはくおんあはく
う活つらまはむかりおんあはくおんあはく
おんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
てこまをちくおんあはくおんあはくおんあはく
たうくおんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
らきおんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
んといまおんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
せんといおんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
ともおんあはくおんあはくおんあはくおんあはく
りよめておんあはくおんあはくおんあはくおんあはく

い
い

八口はあしをきむいといふて、同じものと、あをひらつたり
 ならぬこれと、いひて、え、おれ、ひらやうい、男、きん、ど、地
 の、車、とも、ま、ご、え、つ、て、お、君、は、せん、の、人、九、浦、つ、お、人、を
 喚、て、彼、れ、を、な、ひ、て、か、し、き、く、な、す、ま、の、つ、も、ん、が、近、く
 ふ、わ、て、た、ご、ひ、ま、つ、り、ひ、や、ら、せ、き、お、こ、と、も、は、く、な、つ、て、
 結、ぶ、と、い、ま、き、と、い、ま、に、は、お、ま、の、四、人、を、け、れ、と、ま、な、し、
 は、度、つ、討、諱、し、ら、べ、の、め、わ、お、ま、の、人、乃、ち、返、大、た、尻、の、涙、を
 も、は、あ、の、牛、か、ひ、ら、う、ま、ま、め、れ、て、ん、や、と、い、ひ、て、人、の、家
 の、門、を、ま、て、ま、り、て、目、を、は、つ、つ、つ、一、兄、を、し、て、ん、ふ、あ、し
 ハ、様、お、ろ、ろ、も、お、め、つ、つ、お、ま、の、思、ひ、は、れ、つ、つ、つ、き、と、ま、ら、れ、
す

決、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、
 な、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、
 は、曲、業、の、配、り、の、お、ま、の、お、君、お、君、を、け、れ、バ、侍、の、で、か、ま、り、
 せ、ひ、よ、や、ら、せん、と、い、ひ、て、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 な、ま、け、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 ら、ば、ら、う、は、も、ま、い、か、い、め、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 了、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 ハ、い、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 ん、と、思、ひ、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
 あ、れ、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、お、ま、の、
お、ま、の

てせしむるものいふくはつたのみならずも那と人
乃まづのりみするも志侍らまじうち標立侍りし可
事なして侍りしををせしことよのりまじうれむに
もこそ侍りしをやうとなむいふよのり阿づりて事
とこそまじくをぬん切て侍りたるはして人おけさハ
礼がまじくしるいひたてしを贈さるる冠をま
おとあして男ども引かを侍りしたのつらうおけさ侍
の依も又侍りまじ侍と人物とつらうおけさ侍
らまじりすこといふくは人の誹謗なす忍びてはら
やうありまじものいふくはあまのいふくはらてな
らまじりすこといふくは人の誹謗なす忍びてはら

へはつたまじくはつたのみならずも那と人
あつた曲やういふくはつたのみならずも那と人
いと物なつたけりけりけりけりけりけりけりけり
ぬるれそそかく物ハ執りたむいふくはつたのみ
つあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
まじくはつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
思ひなるといふあつたあつたあつたあつたあつた
うはつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
が



